

# 女性医師 就業支援 相談窓口からのお知らせ



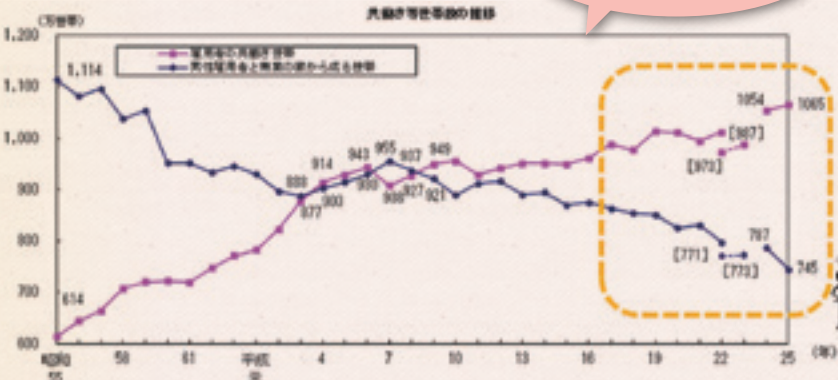
## Pick up 関連資料 男性にとっての男女共同参画

「ワンオペ育児、流行語で終わらせないために、働き方・休み方を見直してみましょう！

### 仕事の担い手、家庭の担い手の変化

共働き世帯は増加、  
そうでない世帯との差は  
大きくなっています。

## 職員の 「ワンオペ育児、解消 職場で行う 多主体協働の 子育て支援」



### 6歳未満の子供を持つ夫の家事・育児関連時間(1日当たり・国際比較)

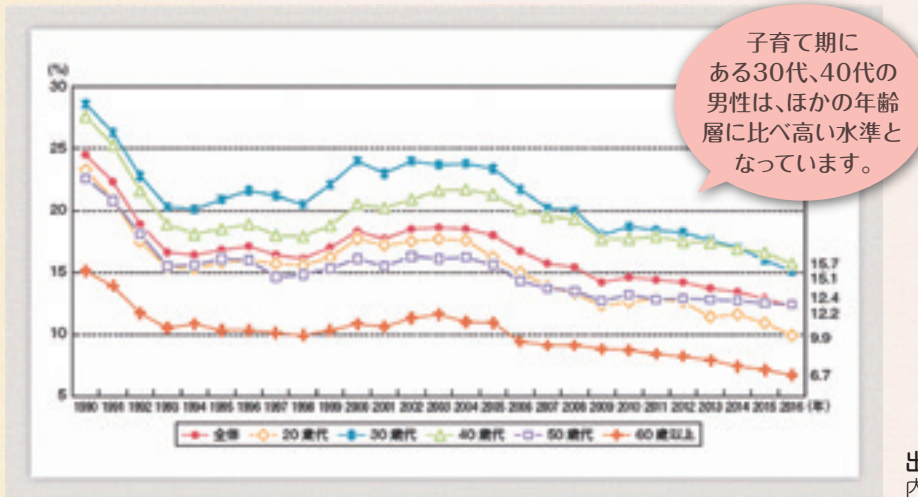


男性が子育てや家事に費やす時間は先進国中最低の水準にとどまっています。

インターネット発の「ワンオペ育児」という言葉が「2017年ユーキャン新語・流行語大賞」にノミネートされていました。この「ワンオペ育児」という言葉は、2014年、某外食チェーンのブラックな労働を指した「ワンオペレーション(一人作業)」が社会問題となり、その翌年ごろからツイッターで子育て世代を中心に拡散され使われるようになりました。

核家族、共働き世帯が増加した社会において、仕事から育児そして家庭のことまで全てを一人で同時に行うのは非常に困難だという状況がこの言葉に込められています。また、子供や自身の健康が犠牲になる可能性もあり、離職のリスクも高まります。このような職員の危機を、勤務先と子育てに係る多主体が連携して救う、「チーム育児」を始めませんか?当窓口での支援内容はホームページの「お知らせ」にパンフレットを掲載しております。

### 年齢別就業時間が週60時間以上の男性就業者の割合の推移



子育て期にある30代、40代の男性は、ほかの年齢層に比べ高い水準となっています。

ご相談・お問い合わせはこちらから

女性医師就業支援相談窓口ホームページ  
<http://www.ibaraki.med.or.jp/women/>

茨城県医師会 女性医師就業支援相談窓口

☎ 029-241-7467

📠 0120-107-467

📠 029-241-7468

✉ i-dr.support@au.wakwak.com



出所：  
内閣府